呼吸器外科　　医長　平見有二

●診療科の特徴

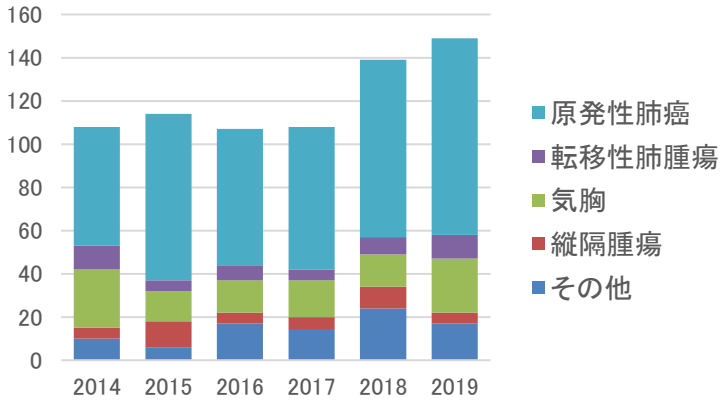
1. 呼吸器外科では胸の中にある肺、縦隔などの病気を中心に手術を行っています。病気の診断、評価は呼吸器内科、放射線科、病理診断科と連携して行われ、手術で良くなる状況かどうかを判断しています。
2. 手術症例の 6～7 割は肺がんであり、命に関わる病気でもあるため肺がんには最も力を入れています。がんを治すことにこだわり、手術手技はもちろん、放射線、薬物療法を組み合わせることにより手術で治るかどうか、ぎりぎりのところで差のつく高度な医療を提供できるよう心掛けています。
3. 気胸、縦隔腫瘍などの多くの病気、難治性の病気などに対しても対応しています。最近増えている肺気腫、間質性肺炎、塵肺などに合併する難治性の気胸に対しては根気よく治療にあたる必要があり呼吸器内科、放射線科と話し合い、多くの治療戦略を立てて対応しています。
4. 胸腔鏡下手術に関してですが、当院では患者さんへの手術による体の負担、痛みを減らすため、また創部の綺麗さにこだわって、積極的に導入してきました。手術器具も年々進化しており、より安全になっています。
5. 一般に肺の手術は難易度が高い手技とされています。安全、かつ確実な手術を提供できるよう日々努めています。手術に入るスタッフが固定しているため安定した医療を提供できていると思います。

●入院診療実績

1. 主要手術(全身麻酔)　　年間手術件数 164 件

	手術名	件数
1	原発性肺癌	94
2	転移性肺腫瘍	12
3	気胸	28
4	縦隔腫瘍	5
5	その他	25

手術件数の推移（全身麻酔）



●研究業績

1. 論文発表

1）吉川真生、平見有二、三好健太郎、安藤陽夫
肺末梢の嚢胞内に認めた孤立性扁平上皮性乳頭腫の 1 例
日本呼吸器外科学会雑誌. 34(2): 149-53, 2020.

2. 学会、研究会

1) 肺嚢胞内に有茎性結節として認めた単発性肺扁平上皮乳頭腫の 1 例
吉川真生、平見有二、三好健太郎、安藤陽夫
第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. 2019 年 5 月.

2) フレイルチェストを呈した 18 ヶ所の肋骨骨折に対して選択的肋骨固定術を施行した1例
吉川真生、平見有二
第 81 回日本臨床外科学会総会. 2019 年 11 月.

3) 術前 CT で肺静脈走行異常を認めた，右中葉肺癌の 1 手術例
吉川真生、平見有二
第 32 回日本内視鏡外科学会総会. 2019 年 12 月.

4) 乳癌に対するベバシズマブ併用化学療法中に発症した気胸に対して胸腔鏡下肺部分切除＋胸膜癒着術を行った一例
山原美穂、吉川真生、秋山一郎、平見有二
第 182 回岡山外科会. 2019 年 11 月.

5) 関節リウマチ加療中に認めたすりガラス陰影を伴う小結節が進行癌であった一例
林　直宏、吉川真生、平見有二
第 60 回日本肺癌学会学術総会. 2019 年 12 月.

3. 講演

1) 第 94 回岡山胸部疾患懇話会
平見　有二
岡山国際交流センター　　2019 年 9 月 10 日

泌尿器科　　医長　市川孝治

● 診療科の特色

1)　当科は常勤医 3 名、レジデント 1 名で診療しており、成人の泌尿器科疾患全般を扱っています。診療の特色としては、癌患者が多数を占めており、増加傾向にあります。当科では、今後も泌尿器科癌を診療の中心として、この地域での「がんセンター」を目指したいと考えています。

2)　例年通り、手術は膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術がもっとも多く、その次は前立腺肥大症に対する経尿道的手術になります。出血量が少ないバイポーラ電極による核出術を採用しており良好な成績となっています。さらに前立腺癌に対する根治的前立腺全摘除術が続きます。

3)　移植用腎採取術(ドナー腎摘除術)を泌尿器科が担当しています。腎移植外科と協力して、中国・四国地方における拠点施設として腎移植医療の一翼を担っています。

4)　がんの治療に関しては、患者さまと一緒に考え、手術、化学療法、放射線治療など高度で良質な医療を提供するように心がけています。

● 入院診療実績

1. 主要手術

	手術名	件数
1	副腎摘除術	2
2	腎摘除術	7
3	腎部分切除術	6
4	腎尿管全摘除術	8
5	移植用腎採取術	18
6	膀胱全摘除術	3
7	経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT, TURBO)	109
8	根治的前立腺全摘除術	28
9	経尿道的前立腺切除術 (TURP, TUEB)	44
10	前立腺生検	164

2. 腎癌の新規薬物療法

1)　化学療法未治療の進行腎細胞癌を対象に、抗 PD-1 抗体ニボルマブと抗 CTLA-4 抗体イピリムマブの併用療法が使用できるようになりました。

a)　Intermediate および high risk 未治療進行腎細胞癌に対するニボルマブとイピリムマブの併用療法の有効性を検討した CheckMate-214 試験によると、患者の全生存期間の中央値は併用療法群が NR(95%信頼区間:28.2-NE)、スニチニブ群が 26.0 カ月(95%信頼区間:22.1-NE)で、ハザード比 0.63(99.8%信頼区間:0.44-0.89)、p＜0.0001 で統計学的に有意に併用療法群が良い結果でした。

b)　また、無増悪生存期間中央値は併用療法群が 11.6 カ月(95%信頼区間:8.7-15.5)、スニチニ

ブ群が 8.4 カ月（95%信頼区間：7.0-10.8）で、ハザード比 0.82（99.1%信頼区間：0.64-1.05）、p＝0.0331 であらかじめ設定された統計学的有意差の閾値（0.009）に達しなかったものの、併用療法群で長い傾向でした。

c） 投与方法は、ニボルマブ 240mg とイピリムマブ 1mg/kg を 3 週間間隔で 4 回投与し、その後は 2 週間間隔でニボルマブを 240mg 投与します。当院でもこれまで数名の患者へ投与し、転移巣の縮小を認めています。

● 研究業績

1. 論文発表

1. Tomoyasu Tsushima, MD, PhD, Takafumi Miura, MD, PhD, Takahiko Hachiya, MD, PhD,Ichiro Nakamura, MD, Toyoko Yamato, MD, PhD, Takeshi Kishida MD, PhD, Yoshinori Tanaka, MD, PhD, Shin Irie, MD, PhD, Norio Meguro, MD, Takashi Kawahara, MD, and Nobuhisa Nakajima, MD, PhD on behalf of the Japanese Society for Palliative Medicine.
   Treatment Recommendations for Urological Symptoms in Cancer Patients: Clinical Guidelines from the Japanese Society for Palliative Medicine. JOURNAL OF PALLIATIVE MEDICINE, 22(1), 54-61, 2019.
2. 津島知靖, 他：膀胱癌診療ガイドライン 2019 年版. CQ22 腎機能障害を伴う切除不能または有転移症例に対する GCarbo 療法は推奨されるか？ 医学書院出版.2019.

2. 学会、研究会

1. 土井啓介, 林あずさ, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
   回腸導管造設術を施行した膀胱全摘除術における術後感染症の発生頻度
   第 27 回中国四国前立腺・腎尿路疾患研究会, 2019 年 2 月 9 日, 岡山市
2. 市川孝治, 林 あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 津島知靖, 井上陽介, 窪田理沙, 宇埜 智, 赤枝輝明, 有地弘充, 藤田竜二, 野崎邦浩, 横山光彦, 井上 雅, 塩塚洋一, 國富公人
   2018 年 NHO 岡山医療センター泌尿器科 手術統計
   第 318 回日本泌尿器科学会岡山地方会, 2019 年 2 月 23 日, 岡山市
3. 林 あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
   当院における非胚細胞性精巣腫瘍における検討
   第 107 回日本泌尿器科学会総会, 2019 年 4 月 18 日, 名古屋市
4. 市川孝治, 林 あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 津島知靖
   腹腔鏡下副腎摘除術を施行した副腎悪性腫瘍の術中所見について
   第 107 回日本泌尿器科学会総会, 2019 年 4 月 19 日, 名古屋市
5. 土井啓介, 林 あずさ, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
   回腸導管造設術を施行した膀胱全摘除術における手術創部感染症の発症頻度
   第 107 回日本泌尿器科学会総会, 2019 年 4 月 19 日, 名古屋市
6. 久住倫宏, 林 あずさ, 土井啓介, 市川孝治, 津島知靖
   当科における腎部分切除の検討
   第 107 回日本泌尿器科学会総会, 2019 年 4 月 20 日, 名古屋市
7. 土井啓介, 林 あずさ, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖, 花木祥二朗, 人見浩介, 仲田惣一, 中原

康雄, 青山興司
小児外科での経験
第 319 回日本泌尿器科学会岡山地方会, 2019 年 5 月 18 日, 倉敷市

8. 赤枝輝明, 渡辺豊彦, 山田大介, 津島知靖
日本泌尿器科学会保険委員会報告
第 319 回日本泌尿器科学会岡山地方会, 2019 年 5 月 18 日, 倉敷市
9. 長谷川翼, 林　あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
腎動脈瘤の一例
第 301 回岡山泌尿器科カンファレンス, 2019 年 5 月 28 日, 岡山市
10. 大塚憲昭, 林　あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
多発リンパ節腫大の1例
第 303 回岡山泌尿器科カンファレンス, 2019 年 7 月 23 日, 岡山市
11. 市川孝治, 林 あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 津島知靖
当院における Transurethral enucleation with bipolar (TUEB)の治療成績
第 26 回日本排尿機能学会, 2019 年 9 月 13 日, 東京
12. 当院における陰茎折症の 2 例
久住倫宏, 林　あずさ, 土井啓介, 市川孝治, 津島知靖, 藤田竜二, 山崎智也, 大岩裕子
日本性機能学会　第 30 回学術総会/第 28 回日本性機能学会西部総会, 2019 年 9 月 21 日, 徳島市
13. TURBO(transurethral resection of bladder tumor in one-piece) trainee のための TURBO 症例において気を付けるべき点
林　あずさ, 佐久間貴文, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
第 320 回日本泌尿器科学会岡山地方会, 2019 年 9 月 21 日, 岡山市
14. 河本晶代, 市川孝治
当院における排尿ケアチームの取り組みと今後の課題
排尿ケアを考える会, 2019 年 9 月 28 日, 岡山市
15. Laparoscopic surgery for adrenal tumors: a single surgeon's experience from 52 cases
T. Ichikawa, A. Hayashi, K. Doi, N. Kusumi and T. Tsushima
39th Congress of Société Internationale d'Urologie, 2019.10.17, Athens, Greece
16. 林　あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
当院の腎外傷症例の検討
第 71 回西日本泌尿器科学会総会, 2019 年 11 月 8 日, 松江市
17. 久住倫宏, 林　あずさ, 土井啓介, 市川孝治, 津島知靖
pT3 腎癌の臨床的検討
第 71 回西日本泌尿器科学会総会, 2019 年 11 月 9 日, 松江市
18. 大塚憲昭, 林　あずさ, 佐久間貴文, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖, 守山喬史, 石川立則, 永喜多敬奈, 神農陽子, 梶原壮平, 佐藤　晶
性腺外胚細胞性腫瘍の一例
第 14 回初期研修医症例報告会, 2019 年 11 月 16 日, 岡山市
19. 今谷紘太郎, 林　あずさ, 佐久間貴文, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖

外尿道口に突出した Inverted papilloma の 1 例
第 14 回初期研修医症例報告会, 2019 年 11 月 16 日, 岡山市

20. 市川孝治, 林 あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 津島知靖
腹腔鏡からロボット支援, 再度腹腔鏡下前立腺全摘術への経験
第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2019 年 11 月 21 日, 京都市
21. 市川孝治, 林 あずさ, 土井啓介, 久住倫宏, 津島知靖
単一術者による体腔鏡下副腎摘除術 52 例の検討
日本内分泌学会 第 29 回臨床内分泌代謝 Update, 2019 年 11 月 29 日, 高知市
22. 林 あずさ, 佐久間貴文, 久住倫宏, 市川孝治, 津島知靖
TURBO(transurethral resection in one-piece)で膀胱穿孔した 2 例
第 321 回日本泌尿器科学会岡山地方会, 2019 年 12 月 14 日, 岡山市
23. 津島知靖, 赤枝輝明, 山田大介, 渡辺豊彦
日本泌尿器科学会西日本保険委員会報告
第 321 回日本泌尿器科学会岡山地方会, 2019 年 12 月 14 日, 岡山市

3. 講演

1. 津島知靖
知って得する泌尿器科保険診療の基礎知識(西日本編)
第 71 回西日本泌尿器科学会総会, 2019 年 11 月 8 日, 松江市
2. 市川孝治
排尿自立指導料について
排尿ケア講習会, 2019 年 8 月 8 日, 岡山市
3. 市川孝治
前立腺がん地域連携パス、排尿障害治療について
御津医師会学術講演会, 2019 年 9 月 19 日, 岡山市
4. 久住倫宏
腎疾患と高血圧治療
第 306 回岡山泌尿器科カンファレンス, 2019 年 11 月 26 日, 岡山市

外科　　医長　太田徹哉

● 診療科の特色

消化器（上部消化管・下部消化管・肝胆膵）、内分泌（乳腺・甲状腺）、腎移植を中心に臓器別診療体制を導入し、外傷などの外科救急対応を含み幅広い診療を行っている。スタッフは 8 名で、外科専修医 5 名が加わり活力に満ちた診療科になっており、各々専門性を出しながら弾力的に担当をしている。

消化器では腹腔鏡手術の頻度が増え、胆嚢炎・ソケイヘルニアなどの良性疾患以外に進行癌にも用いられる機会があり、年間 200 例を超える。肝胆膵外科は、高度技能指定病院として安定した成績を収めている。外科全体として、根治性を損なわず合併症の少ない、体にやさしい手術を目指している。

乳腺・甲状腺手術も、傷のきれいな手術を心がけており、甲状腺手術では内視鏡手術を行っている。

腹腔鏡下手術の増加に伴い、スキルアップラボやシミュレーターを用いた研修や実技試験に積極的に参加し、手術手技の向上を図っている。

● 入院診療実績

1．主要手術　　年間手術件数 806 件

	手術名	件数
1	結腸・直腸手術	130
2	胆嚢摘出術	90
3	胃切除術	56
4	ソケイ・腹壁ヘルニア手術	98
5	甲状腺・上皮小体手術	32
6	肝切除術	26
7	乳腺切除術	46
8	虫垂切除術	33
9	急性腹膜炎手術	16
10	小腸切除術	39

● 研究業績

1．論文発表

なし

2．学会、研究会

1）竹による肛門周囲刺創が直腸内腔まで到達し，内視鏡的に除去，修復できた治療経験

久保　孝文

第 105 回 日本消化器病学会総会　 2019 年 5 月 11 日

2）内ヘルニアで発症した外膀胱上窩ヘルニアに対して TAPP による修復を行った 1 例

柿下　大一

第 17 回 日本ヘルニア学会学術総会　 2019 年 5 月 25 日

3）Nuck 管水腫に対して 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)を 施行した 2 例

太田 徹哉　　向原 史晃

第 17 回 日本ヘルニア学会学術総会　2019 年 5 月 25 日

4)高カルシウム血症の鑑別に苦慮した原発性副甲状腺機能亢進症の 1 例

秋山 一郎

第 31 回 日本内分泌外科学会　2019 年 6 月 13 日

5)当科における胃癌肝転移切除症例の検討

太田 徹哉

第 44 回 日本外科系連合学会学術集会　2019 年 6 月 21 日

6)緊急除圧術によって両下肢麻痺が改善した乳癌多発脊椎転移の 1 例

秋山 一郎

第 27 回 日本乳癌学会　2019 年 7 月 11 日

7)残膵全摘後に胃内容排泄障害が遷延した 2 例の検討-DP 後の PD における再建法の注意点－

久保 孝文

第 74 回 日本消化器外科学会総会　2019 年 7 月 17 日

8)横行結腸癌、下行結腸癌に対する腹腔鏡下手術

瀬下 賢

第 74 回 日本消化器外科学会　2019 年 7 月 17 日

9)DST 吻合に対するリークテストの際の直腸内圧測定

國末 浩範

第 74 回 日本消化器外科学会総会　2019 年 7 月 19 日

10)パルボシクリブ耐性後、アナストロゾールが有効であった高齢者乳癌の 1 例

秋山 一郎

第 16 回 中国四国日本乳癌学会　2019 年 9 月 14 日

11)術前診断できた胆石性腸閉塞を伴わない胆嚢十二指腸瘻の経験

久保 孝文

第 55 回 日本胆道学会学術集会　2019 年 10 月 4 日

12)当院における膵 NET(神経内分泌腫瘍)切除症例の検討

太田 徹哉

第 57 回 日本癌治療学会学術集会　2019 年 10 月 26 日

13)胃穿通を伴った膵腺扁平上皮癌に対し胃全摘を伴う尾側膵切除で救命できた 1 例

塩入 幹汰

第 81 回 日本臨床外科学会総会　2019 年 11 月 14 日

14)膵頭十二指腸切除術後の挙上空腸が絞扼されたことにより、急性胆管炎を併発し敗血症性ショックとなった 1 例

向原 史晃

第 81 回 日本臨床外科学会総会　2019 年 11 月 14 日

15)直腸癌術後縫合不全加療中に血球貪食症候群を発症した一例

高橋 達也

第 81 回 日本臨床外科学会　2019 年 11 月 14 日

16)小網内の壁外発育型胃粘膜下腫瘍に対して流入血管を先行切離することで安全に腹腔鏡下胃局所

切除術を施行できた 2 例
柿下　大一
第 81 回　日本臨床外科学会総会　2019 年 11 月 16 日
17)腹腔鏡下に修復した腎移植ドナー術後の左上腰ヘルニアの一例
國末　浩範
第 32 回　日本内視鏡外科学会総会　2019 年 12 月 7 日
18)腹腔鏡補助下結腸右半切除 D3 リンパ節郭清の手術手技
瀬下　賢
第 32 回　日本内視鏡外科学会　2019 年 12 月 7 日
19)用手整復後に待機的に TAPP を施行した閉鎖孔ヘルニアの 3 例
高橋　達也
第 32 回　日本内視鏡外科学会　2019 年 12 月 7 日
20)レンバチニブを使用した甲状腺癌 14 例の検討
秋山　一郎
第 48 回　中国四国甲状腺外科研究会　2020 年 2 月 15 日
21)BR/UR 膵癌(取扱い規約 7 版)の治療方針に関するアンケート調査集計結果
久保　孝文
第 46 回　岡山大学肝胆膵研究会　2019 年 11 月 13 日

3. 講演
1)　瀬戸内大腸ビデオカンファレンス
國末　浩範
高松東急 REI ホテル　2019 年 5 月 11 日
2)　第 125 回肝胆膵研究会
太田　徹哉
岡山済生会総合病院　2019 年 5 月 16 日
3)　中国四国消化管内視鏡勉強会幹事会
國末　浩範
シェラトングランドホテル広島　2019 年 6 月 28 日
4)　第 27 回瀬戸内肝胆膵治療懇話会　世話人会
太田　徹哉
岡山コンベンションセンター　2019 年 8 月 3 日
5)　Gastric Cancer Forum in Okayama
松村　年久
ホテルグランヴィア岡山　2019 年 10 月 9 日
6)　第 3 回瀬戸内大腸ビデオカンファレンス
國末　浩範
高松東急 REI ホテル　2019 年 11 月 9 日
7)　Thyroid Cancer Case Conference
秋山　一郎
エーザイ株式会社岡山コミュニケーションオフィス　2020 年 2 月 7 日

腎臓移植外科　　医長　藤原拓造

● 診療科の特色

当科は腎代替療法の一つとしての腎移植をドナー、レシピエントの評価、選定から移植手術、術後の免疫抑制療法まで一貫して担当しています。当院では 1988 年より腎移植を開始、2019 年までに生体 320 例、献腎 91 例の合計 411 例の腎移植を行っています。当院は日本像移植ネットワークの特定移植検査施設であり、臓器移植登録時の HLA タイピング、血清の保存等の業務を担当しており、また岡山県臓器バンクと共同で臓器移植の推進、啓蒙などの社会活動も行っています。

● 入院診療実績

1. 主要手術　　年間手術件数 39 件

	手術名	件数
1	生体腎移植	19
2	献腎移植	1
3	腹膜透析カテーテル留置術、抜去術	12
4	内シャント造設術、閉鎖術	7

2. 本年度は当科の専従医が 1 名増員となり、また小児外科に小児腎移植の専門医も配置され、さらに充実し細やかな診療が提供出来るものと思います。

● 研究業績

1. 学会発表

1）藤原拓造, 太田康介、松田浩明、田中信一郎:生着 20 年以上の腎移植レシピエントのプロフィール.　第 104 回岡山透析懇話会　2019 年 6 月　岡山市

2) 藤原拓造、高橋達也、向原史晃、浮田明美、小西貴子、中土井崇人、寺見直人、太田康介: 長期生着腎移植症例の検討. 第 37 回中国四国臨床臓器移植研究会　2019 年 8 月　岡山市

3) 中川智博、藤原大也、藤原拓造:当院おける生体腎移植前抗体検査について. 第 37 回中国四国臨床臓器移植研究会　2019 年 8 月　岡山市

4) Takuzo Fujiwara, Tatsuya Takahasi, Fumiaki Mukohara, Kosuke Ota: Association between graft function at 10 years after kidney transplantation and subsequent graft survival. 19th Congress of the European Society for Organ Transplantation. Sep. 2019, Copenhagen, Denmark

5) 藤原拓造, 田中信一郎:　生体腎移植における移植 10 年後の移植腎機能の決定因子. 第 55 回日本移植学会総会　2019 年 10 月　広島

2. 講演

1)　第 37 回中国四国臨床臓器移植研究会　世話人会
藤原　拓造
ホテルグランヴィア岡山　　2019 年 8 月 24 日

小児外科　　医長　中原康雄

● 診療科の特色

小児外科では、新生児から中学生までの頸部、胸部、腹部、腎尿路、婦人科領域の外科的疾患を扱っている。小児外科指導医 2 名（常勤医1名、非常勤医1名）、小児外科専門医 2 名（常勤医 2 名）、小児泌尿器科認定医 3 名（常勤医 2 名、非常勤医 1 名）、小児がん認定外科医 1 名（常勤医 1 名）、腎移植認定医 2 名（常勤医1名、非常勤医 1 名）が在籍（重複あり）している。小児外科救急疾患に関しては基本的に 24 時間、常時対応している。当院は総合周産期母子センターに指定されており、新生児外科疾患も数多く扱っている。近年では胎児診断症例も増えているため、出生前からの検査や管理、出産後の治療まで産婦人科、新生児科と連携して行っている。悪性固形腫瘍（神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫、横紋筋肉腫、奇形腫など）の治療に関しては、国内のスタディーグループのプロトコールに準じて行っており、良好な結果が得られている。当科は小児外科ではあるが小児泌尿器科疾患の治療を長年にわたり行っており、小児外科と小児泌尿器科両方の知識と技術を必要とする総排泄遺残症、外反症、などの治療経験も豊富である。また総排泄腔専門外来も有している。また小児腎移植も担当し、年数例施行している。

● 入院診療実績

1．主要手術　　年間手術件数 539 件

	手術名	件数
1	鼠径ヘルニア根治術	136
2	停留精巣固定術	49
3	臍ヘルニア手術	62
4	急性虫垂炎手術	25
5	膀胱尿管逆流症手術	13
6	小児固形腫瘍手術	9
7	尿道下裂関連手術	7
8	水腎症手術（腎盂形成）	3
9	重症心身障害児の手術	35
10	新生児外科手術	12

2．その他

- 教育・研修

  小児外科専門医を取得でき、また実力の伴った小児外科医を育てるべく、当院の外科、小児科、新生児科と連携した研修を行ってもらっている。研修に関してはNPO法人中国四国小児外科医療支援機構とも連携を図っている。

- 海外小児外科医療支援

  国際ボランティア組織であるジャパンハートと協力し、年に 2 度ミャンマーにて数多くの主要な手術を施行している。その際、後期研修医も同行して手術経験を積んでいる。また東南アジア諸国から治療が困難な重症疾患の子ども達を受け入れ治療を行っている。

- 低侵襲手術

  膀胱尿管逆流症に対しては膀胱鏡下 Deflux 注入療法を施行している。腹腔鏡手術は虫垂炎、鼠径ヘルニア、噴門形成、脾臓摘出、良性腫瘍摘出、高位鎖肛、ヒルシュスプルング病（long segment）など種々の疾患に施行している。手術術式として従来の開腹、開胸手術の方が安全で、精度が高いと考えられる疾患に関しては現時点では適応としていない。

小児外科ホームページ http://www.shonigeka.com/）で当科の詳細を公開している。

● 研究業績

1．論文発表

1) Urological anomalies associated with obstructed hemivagina and ipsilateral renal anomaly (OHVIRA) syndrome, a case series
   Yasuo Nakahara, Soichi Nakada, Kosuke Hitomi, Shojiro Hanaki, Keisuke Doi, Takafumi Goto, Koji Aoyama
   Journal of Pediatric Surgery Case Reports. 2019, 52: 101358
2) 閉塞性黄疸で発症した膵 solid-pseudopapillary neoplasm の男児例
   花木祥二朗，中原康雄，大倉隆宏，人見浩介，上野悠，仲田惣一，太田徹哉，後藤隆文
   日本小児外科学会雑誌. 2019; 55: 269-273
3) 小児膵腫瘤性病変の検討
   大倉隆宏，中原康雄，秋山卓士，河崎正裕，岩村喜信，久守孝司，高尾智也，片山修一，後藤隆文，青山興司
   日本小児外科学会雑誌. 2019; 55: 802-808
4) 【外来必携フォローのポイント-いつまで何をみるか】総排泄腔外反症
   後藤隆文，中原康雄，仲田惣一
   小児外科. 2019; 51: 699-703
5) 【総排泄腔遺残症の手術】再手術の手技と問題点
   後藤隆文，中原康雄，仲田惣一，青山興司
   小児外科. 2018; 51: 890-893
6) 当科における直腸肛門奇形に対する S 状結腸完全離断型人工肛門造設術の実状
   仲田惣一，中原康雄，後藤隆文，花木祥二朗，人見浩介
   日本小児外科学会雑誌. 2019; 55: 1044-1048
7) 【神経線維腫症 1 型(Recklinghausen 病)の病態と治療:小児外科医のかかわり・役割】骨盤内原発神経線維腫 4 症例のその後
   後藤隆文，岩村喜信，中原康雄，仲田惣一，花木祥二朗，人見浩介
   小児外科: 2019; 51: 1220-1223
8) 新生児期、乳児期早期の肝血管腫・血管奇形の臨床的検討
   浅井芳江，中原康雄，影山操，中村信，多田克彦，熊澤一真，沖本直輝，塚原紗耶
   日本周産期・新生児医学会雑誌, 2019; 55: 944-950

2. 学会、研究会

1) NB マス休止後の神経芽腫症例のまとめ 低リスク群の検討
人見浩介
第 60 回中国四国小児がん研究会 2019 年 4 月 13 日

2) 化学療法中に再発した右腎芽腫 StageⅢ(focal anaplasia)の 1 例
花木祥二朗
第 60 回中国四国小児がん研究会 2019 年 4 月 13 日

3) external urethral meatal web による anterior deflected urinary stream(ADUS)を認めた女児例
花木祥二朗
第 319 回 日本泌尿器科学会岡山地方会 2019 年 5 月 18 日

4) 総排泄腔遺残症患者における骨盤底画像所見の検討
中原康雄
第 56 回日本小児外科学会学術総会 2019 年 5 月 22 日

5) Longitudial tapering enteroplasty を加えた一期的腸吻合が奏功した Apple-peel 型小腸閉鎖に多発小腸閉鎖の合併した一例
人見浩介
第 56 回日本小児外科学会学術総会 2019 年 5 月 22 日

6) 新生児期に発症した先天性食道狭窄症の 2 例
花木祥二朗
第 56 回日本小児外科学会学術総会 2019 年 5 月 22 日

7) 右傍卵管嚢胞による右卵管捻転を来した女児例
花木祥二朗
第 56 回日本小児外科学会学術総会 2019 年 5 月 22 日

8) 特発性卵巣出血の一例
人見浩介
第 24 回岡山小児医療研究会 2019 年 6 月 2 日

9) 当科における二分脊椎患児の排泄管理の現状
仲田惣一
第 33 回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会 2019 年 6 月 15 日

10) 同側尿管への逆流により難治性尿路感染症を生じ外科的治療を要した多嚢胞性異形成腎の 1 例
人見浩介
第 28 回日本小児泌尿器科学会総会 2019 年 7 月 5 日

11) 肉眼的血尿を契機に発見した膀胱尿管逆流症の 2 例
仲田惣一
第 28 回日本小児泌尿器科学会総会 2019 年 7 月 5 日

12) OHVIRA 症候群に合併する腎尿路奇形
中原康雄
第 28 回日本小児泌尿器科学会総会 2019 年 7 月 5 日

13) Solid tumors in the neonatal period

Yasuo Nakahara

The 12th K-INT (Kure International Medical Forum)　2019 年 7 月 26 日

14) 臍腸管遺残に対して臍部 H 字切開法にて手術加療を行った 1 例

花木祥二朗

第 58 回 日本小児外科学会中国四国地方会　2019 年 9 月 14 日

15) Gross D 型先天性食道閉鎖症の 1 例

塩入幹汰

第 58 回 日本小児外科学会中国四国地方会　2019 年 9 月 14 日

16) Gross D 型先天性食道閉鎖症の 1 例

花木祥二朗

第 39 回 日本小児内視鏡外科・手術手技研究会　2019 年 10 月 17 日

17) 便秘を主訴とした仙尾部腫瘍の 2 例

人見浩介

第 71 回中国四国小児科学会　2019 年 11 月 9 日

18) 胎児水腎症の 出生後経過の検討 ～乳児期早期超音波検査所見は手術予測因子となり得るか？～

仲田惣一

第 71 回中国四国小児科学会　2019 年 11 月 9 日

19) 化学療法中に再発した右腎芽腫 StageⅢ(focal anaplasia)の 1 例

花木祥二朗

第 61 回 日本小児血液・がん学会学術集会　2019 年 11 月 14 日

20) 当科で経験した胎児期、新生児期および乳児期早期の腫瘍症例の検討

中原康雄

第 61 回 日本小児血液・がん学会学術集会　2019 年 11 月 14 日

21) 嚢胞状肝内胆管拡張を伴う胆道閉鎖症の 1 例

中原康雄

第 46 回胆道閉鎖症研究会　2019 年 11 月 30 日

22) 当院で最近経験した肝芽腫の検討

花木祥二朗

第 92 回日本小児科学会岡山地方会　2019 年 12 月 1 日

23) 尿管ポリープが原因となった間欠的水腎症の一例

人見浩介

第 92 回日本小児科学会岡山地方会　2019 年 12 月 1 日

24) 当院における小児急性陰嚢症の臨床的検討

人見浩介

第 321 回日本泌尿器科学会岡山地方会　2019 年 12 月 14 日

25) 排尿時膀胱尿道造影における膀胱尿管逆流出現のタイミングと腎瘢痕の関係性の検討

中原康雄

第 28 回日本逆流性腎症フォーラム　2020 年 2 月 8 日

整形外科　　医長　竹内一裕

● 診療科の特色

脊椎・脊髄外科、関節外科、外傷外科（骨折等）の高度専門治療

● 入院診療実績

1．主要手術　　年間手術件数　1852　件

	手術名	件数
1	骨折観血的手術（上肢）	127
2	骨折観血的手術（下肢）	220
3	人工関節置換術（股関節）	121
4	人工関節置換術（膝関節）	120
5	関節鏡下半月板縫合術	38
6	頚椎椎弓形成術	69
7	頚椎前方固定術	31
8	内視鏡下椎間板摘出術	105
9	腰椎椎弓切除術	145
10	PLIF-脊椎固定術	127

● 研究業績

1．論文発表

1)　Takeuchi K.

The characteristics of the patients with radiologically severe cervical ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine: A CT-based multicenter cross-sectional study..

2)　Takeuchi K.

Spinal fractures in patients with Diffuse idiopathic skeletal hyperostosis:A nationwide multi-institution survey.

3)　【脊椎内視鏡手術の進歩】胸椎胸腔鏡視下手技(胸椎 VATS)の変遷とその応用の拡がり

脊椎脊髄ジャーナル　32(9): 861-870、2019

竹内一裕、篠原健介

4)　腰椎前方アプローチ-その光と影　－血管の処理にこだわる－

臨床整形外科　54(11):1117-1125、2019

竹内 一裕, 篠原 健介, 荒瀧 慎也, 中原 進之介

5)　【マジでオペを見ているんじゃないかと思えるくらいに詳細な手術解説　マジオペ‼脊椎】腰椎変性疾患に対する固定術 (PLIF、TLIF) ・PLIF / TLIF -

竹内　一裕

6)　外傷領域における Retina 3D（術中 3D）の有用性

Future of Healthcare 42-43
塩田直史
7） 骨粗鬆症患者の骨盤骨折に対する手術
骨粗鬆症患者に対する手術と成功の秘訣 150-157
塩田直史
8） 大腿骨近位部骨折治療の進化 ーわかったこと、のこったことー
東海骨折 11 巻 11～16
塩田直史
9） MIPO 法の適応と限界
Surgical technique 9 巻 48 号 25-31
塩田直史
10）大腿骨転子下骨折の骨折部固定性に及ぼす髄内釘長さの生体力学的評価
臨床バイオメカニクス 40 巻 1 号 45-52
笹川圭右, 佐野匠, 尾田雅文, 塩田直史, 佐藤徹
11）人工骨頭置換術における二次元デジタルテンプレートによる術前計画の検討
骨折 41 巻 3 号 882-884
近藤彩奈, 黒田崇之, 塩田直史, 川澤雄大, 田村公一, 佐藤徹
12）踵骨関節内骨折に対する MIPO 法の治療成績
骨折 41 巻 3 号 1092-1096
川澤雄大, 佐藤徹, 黒田崇之, 金澤智子, 塩田直史
13）大腿骨近位部骨折の術後疼痛管理におけるアセトアミノフェン点滴製剤の有用性の検討
骨折 41 巻 1 号 106-109
金澤智子, 塩田直史, 佐藤徹
14）右肘痛が主訴の骨髄炎との鑑別に難渋した小児の急性リンパ性白血病の一例
中国・四国整形外科学会雑誌 31 巻 3 号 357-357
田村公一, 佐藤徹, 黒田崇之, 金子倫也, 塩田直史
15）踵骨関節内骨折に対する MIPO 法の治療成績
中国・四国整形外科学会雑誌 31 巻 1 号 162-162
川澤雄大, 佐藤徹, 竹内一裕, 塩田直史, 黒田崇之, 廣瀬友彦, 篠原健介, 金子倫也, 田村公一, 近藤彩奈, 川田紘己
16）大腿骨頚部骨折に対する回旋防止と角度安定性機能を持った新しいインプラントによる内固定術の術後短期成績
中部整災誌 62 巻 1125-126
塩田直史、佐藤徹、黒田崇之、川澤雄大、金子倫也、田村公一
17）日本骨折治療学会の取り組み. Ⅰ. 外傷教育の現状と取り組み
関節外科. 2020. Medical View . 10～12
佐藤徹
18）第 3 章 災害時の備え・自助互助公助. 岡山県医師会災害医療救護マニュアル
岡山県医師会災害医療救護マニュアル 35-42
佐藤徹

19） 人工股関節周囲骨折に対する観血的治療
東海関節　10～17
佐藤徹　塩田直史
20） G7 OsseoTi acetabular shell の短期成績
Hip Joint　 45 巻 2 号 811-814
黒田崇之　佐藤　徹　川澤雄大　塩田直史
21） THA における trabecualr metal コーティングカップの 4 年経過例の成績
日本人工関節学会誌　49 巻　535-536

2. 学会、研究会
1）　頚椎後縦靱帯骨化症での脊髄圧迫高位における K-line 評価について－頚椎アライメントおよび骨化占拠率の影響－
竹内一裕、篠原健介
第 48 回日本脊椎脊髄病学会（OPLL, K-line）　2019 年 4 月 19 日
2）　腰椎変性疾患に対する腰椎前方固定術の成績
竹内一裕、篠原健介
第 92 回日本整形外科学会学術総会、横浜　2019 年 5 月 12 日
3）　CLINICAL MANAGEMENT FOR SPINAL CORD INJURY IN PATIENTS WITH CERVICAL ANKYLOSING SPINAL DISORDERS
K. Takeuchi, K. Shinohara,, S. Arataki
The 35th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society – Europe, Roma, Italy
2019 年 5 月 22 日
4）　自信を持って、腰椎前方進入するために – 解剖の理解とその実践 –
竹内一裕
大江戸セミナー（腰椎前方）　2019 年 6 月 8 日
5）　Effect of spinal navigation system on surgical outcomes and operator during cervical pedicle screw insertion.
K. Takeuchi, K. Shinohara
The 19th Annual Meeting of the International Society for Computer Assisted Orthopaedic Surgery, New York, USA　2019 年 6 月 23 日
6）　脊椎を内視鏡で覗いてみた　－　その低侵襲性の実際　－
竹内一裕 7
岡山整形ナレッジセミナー　2019 年 7 月 18 日
7）　Open vs MIS surgery　－A step towards less invasive surgery　－
Kazuhiro TAKEUCHI
Globus Cadaver Seminar, Singapore　2019 年 7 月 18 日
8）　A step forward to minimal invasive surgery – mini-open anterior lumbar approach (mini-ALIF) –
Kazuhiro TAKEUCHI
中日脊椎外科学会 Shenzhen、China　2019 年 8 月 9 日
9）　腰痛治療における選択肢の拡がり

竹内一裕
岡山県臨床整形外科医会　2019 年 9 月 28 日
10） mini-open anterior approach (mini-ALIF) for lumbar deg. Spondylolisthesis
Kazuhiro TAKEUCHI
中国脊椎手術手技検討会　2019 年 12 月 7 日
11） Effect of intraoperative navigation system on the spinal surgeon during cervical screw insertion.
K. Takeuchi, K. Shinohara, S. Arataki
The 1st Annual Meeting of Digital Spine Surgeon Group　2019 年 12 月 15 日
12） 腰椎後方椎体間固定術における米国麻酔学会術前状態分類と術後合併症に関する検討
篠原健介
第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会　2019 年 4 月 19 日
13） 腰椎後方椎体間固定術（PLIF）における米国麻酔学会術前状態分類（ASA 分類）と術後成績の関連性
篠原　健介
日本整学外科会学術集会　2019 年 5 月 12 日
14） The relationship between American Society of Anesthesiologists Classification(ASA classification)and postoperative outcomes for the patient s treated by cervical lamminoplasty
篠原健介
CSES　Euro　2019 年 5 月 25 日
15） Posterior decompression using navigation system of far-out radiculopathy caused by lumbosacral osteophyte or disc herniation:A report two cases
篠原健介
CAOS　2019　2019 年 6 月 23 日
16） 固定力不足により術後神経症状が増悪した胸椎 OPLL の一例
篠原健介
第 52 回　脊椎同好会　2019 年 8 月 31 日
17） ASA 分類が腰椎変性疾患に対する脊椎固定術の予後に与える影響
篠原健介
第 73 回国立病院総合医学会　2019 年 11 月 9 日
18） 米国麻酔学会術前状態分類（ASA 分類）が腰椎後方椎体間固定術（PLIF）の術後成績に与える影響
篠原健介
第 28 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会　2019 年 11 月 15 日
19） 米国麻酔学会術前状態分類が Mini open ALIF の術後成績に与える影響
篠原健介
第 22 回　日本低浸襲脊椎外科学会　2019 年 11 月 28 日
20） ①骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術成績②透視下に側臥位で行う経皮的椎弓根スクリュー挿入はスタンダードになりうるか？
荒瀧慎也
第 48 回日本脊椎脊髄病学会　2019 年 4 月 19 日

21） 側臥位PPS挿入のコツとピットフォール、キャダバーを用いた手術手技指導
荒瀧慎也
Advanced MIS course in Chulalongkorn University Bangkok　2019 年 7 月 10 日
22） BKP 術後感染で難渋した一例
荒瀧慎也
脊椎外科同窓会　2019 年 8 月 31 日
23） The safety and accuracy of percutaneous pedicle screw placement in the lateral decubitus position
荒瀧慎也
7th Capital Scientific Summit on Orthopedic Surgery and 2019China-japan-ROK Minimal Invasive Techniques Forum　2019 年 10 月 27 日
24） 骨粗鬆症椎体骨折に対する lateral access corpectomy の手術成績　視下に側臥位で行う経皮的椎弓根スクリュー挿入の意義と問題点
荒瀧慎也
第 28 回脊椎インストルメンテーション学会　2019 年 11 月 15 日
25） 透視下に側臥位で行う経皮的椎弓根スクリューの安全性
荒瀧慎也
第 22 回　日本低浸襲脊椎外科学会　2019 年 11 月 28 日
26） 側臥位PPSの現状と問題点
荒瀧慎也
第 10 回最小浸襲脊椎治療学会　2020 年 2 月 16 日
27） 胸・腰椎前方アプローチ- 解剖と留意点-
竹内一裕
AO cadaver course, Nagoya　2020 年 1 月 17 日
28） 脊椎骨折（胸腰椎損傷）に対する前方手術－胸椎胸腔鏡視下手術（VATS）という選択肢－
竹内一裕
JALAS 日本脊椎前方側方進入手術学会　2020 年 1 月 25 日
29） 腰椎すべり症に対する小切開を用いた腰椎前方固定術（mini-ALIF）
竹内一裕
香川脊椎脊髄研究会　2020 年 2 月 20 日
30） CSF の動態イメージングを想定した MRI 用流動ファントムシステムの試作
竹内一裕
計測自動制御学会津山地区計測制御研究会　2020 年 1 月 19 日
31） Long term result of missed gull sign case
塩田直史
4th Korean-Japanese Pelvic meeting　2019 年 4 月 28 日
32） Advances in biomechanical analysis and less invasive surgery with navigation system – Japanese way
塩田直史
20th European Congress of Trauma & Emergency Surgery　2019 年 5 月 6 日

33） New classification and clinical results for basicervical fractures of the proximal femur
塩田直史
4th AOTrauma Asia Pacific Scientific Congress　2019 年 5 月 26 日
34） 脆弱性骨盤輪骨折 観血的治療
塩田直史
第 45 回 日本骨折治療学会　2019 年 6 月 29 日
35） 大腿骨頸部骨折における骨接合術
塩田直史
第 1 回 名古屋どまんなか整形外科カンファレンス　2019 年 7 月 20 日
36） Management of periprosthetic fracture post TKA
塩田直史
6th Complex Primary and Revision Knee Symposium　2019 年 9 月 14 日
37） A case of Peri-prosthetic TKA
塩田直史
6th Complex Primary and Revision Knee Symposium　2019 年 9 月 14 日
38） リバース TSA 術後患者の回復過程
安部紗月, 塩田直史
第 46 回 日本肩関節学会　2019 年 10 月 26 日
39） 大腿骨頚基部骨折に対する新しい骨折型分類と Sliding hip screw による治療の工夫
塩田直史
第 46 回 日本股関節学会学術集会　2019 年 10 月 25 日
40） 不安定型大腿骨転子部骨折の診断と治療
塩田直史
第 46 回 日本股関節学会学術集会　2019 年 10 月 26 日
41） 脆弱性骨盤輪骨折には手術治療を行った方が歩行能力を維持できる
塩田直史
第 60 回 岡山骨折研究会　2019 年 11 月 9 日
42） Computer assisted operation for trauma
塩田直史
2020 Rajavithi Hospital meeting　2020 年 2 月 19 日
43） Management of geriatric pelvic fracture
塩田直史
2020 Rajavithi Hospital meeting　2020 年 2 月 19 日
44） Posterior support for intertrochanteric fracture
塩田直史
4th twin hook meeting　2020 年 2 月 13 日
45） Proximal humerus fractures
佐藤徹
AOTrauma Course-Advanced Principle of Fracture Management.
2019 年 4 月 25 日-4 月 27 日

46） Tibial shaft fracture(Proximal, distal and segmental)

佐藤徹

AOTrauma Course-Advanced Principle of Fracture Management.

2019 年 4 月 25 日-4 月 27 日

47） Complex malleolar fractures

佐藤徹

AOTrauma Course-Advanced Principle of Fracture Management.

2019 年 4 月 25 日-4 月 27 日

48） Calcaneal fractures -predicting and avoid problems

佐藤徹

AOTrauma Course-Advanced Principle of Fracture Management.

2019 年 4 月 25 日-4 月 27 日

49） 第 117 回筑後整形外科外傷カンファレンス

佐藤徹

第 117 回筑後整形外科外傷カンファレンス　2019 年 5 月 18 日

50） 下腿手術のサルベージ：下腿難治症例、Poor 症例に対するサルベージ

佐藤徹

Orthopaedic Trauma Management.　2019 年 5 月 19 日

51） Lisfranc 関節難治例に対する治療

佐藤徹

Orthopaedic Trauma Management.　2019 年 5 月 19 日

52） AO Foundation の紹介

佐藤徹

大分大学 Trauma Seminar.　2019 年 6 月 15 日

53） スクリューの形態と機能

佐藤徹

大分大学 Trauma Seminar.　2019 年 6 月 15 日

54） 創外固定の原理

佐藤徹

大分大学 Trauma Seminar.　2019 年 6 月 15 日

55） 脛骨近位部骨折

佐藤徹

大分大学 Trauma Seminar.　2019 年 6 月 15 日

56） Ankle fractures- 後果骨折治療

佐藤徹

Orthopaedic Trauma Management. Lower extremity　2019 年 7 月 28 日

57） 下腿手術のサルベージ：下腿難治症例、Poor 症例に対するサルベージ

佐藤徹

Orthopaedic Trauma Management. Lower extremity　2019 年 7 月 28 日

58） 踵骨骨折に対する小侵襲プレート固定

佐藤徹

第 12 回日本足の外科学会研修会　　2019 年 8 月 3 日

59） Advance Principle Course　Review of the principles of fracture management

佐藤徹

AO Trauma Advance and basic principle course.　　2019 年 8 月 22 日-8 月 24 日

60） Advance Principle Course　Calcaneal fractures—predicting and avoiding problems　Basic Principle Course

佐藤徹

AO Trauma Advance and basic principle course.　　2019 年 8 月 22 日-8 月 24 日

61） Basic Principle Course　Intramedullary nailing – to ream or not toream

佐藤徹

AO Trauma Advance and basic principle course.　　2019 年 8 月 22 日-8 月 24 日

62） 小児骨折に対する観血的治療

佐藤徹

第 26 回日本小児整形外科研修会　　2019 年 9 月 20 日-9 月 21 日

63） 下肢骨折治療の tips &tricks

佐藤徹

第 144 回中部日本整形外科・災害外科学会. 教育研修講演　2019 年 9 月 20 日-9 月 21 日

64） 距骨骨折の治療

佐藤徹

第 10 回日本骨折治療学会アドバンス研修会　　2019 月 22 日-9 月 23 日

65） AO Foundation の紹介と AO 哲学

佐藤徹

広島大学 Trauma Seminar.　　2019 年 11 月 10 日

66） スクリューの形態と機能

佐藤徹

広島大学 Trauma Seminar.　　2019 年 11 月 10 日

67） 創外固定の原理

佐藤徹

広島大学 Trauma Seminar.　　2019 年 11 月 10 日

68） 脛骨近位部骨折

佐藤徹

広島大学 Trauma Seminar.　　2019 年 11 月 10 日

69） Pacific Scientific Congress.

佐藤徹

Biomechanical aspect of calcaneal fractures and clinical results. 4th AOTrauma Asia

2019 年 5 月 24 日-5 月 25 日

70） CORAIL ステムにおける stress shielding の検討

黒田崇之　塩田直史　佐藤　徹

第 46 回日本股関節学会学術集会　　2019 年 10 月 25 日

71） THA 術後に MRSA による toxic shock syndrome を発症した 1 例
黒田崇之、塩田直史、髙田直樹、佐藤　徹
第 50 回日本人工関節学会学会　2020 年 2 月 22 日

72） TKA 術後に内側広筋断裂を生じた 1 例
髙田直樹
第 50 回日本人工関節学会学会　2020 年 2 月 21 日

73） Pilon 骨折に対する当院での治療方法
金子倫也
第 45 回日本骨折治療学会　2019 年 6 月 29 日

74） Pilon 骨折に対する当院における初時の治療法
金子倫也
第 52 回中国四国整形外科学会　2019 年 11 月 24 日

3. 講演

1） 骨折治療の tips&tricks
佐藤　徹
第 117 回筑後整形外科外傷カンファランス　2019 年 5 月 18 日

2） Orthopaedic Ttauma Management
佐藤　徹
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社本社　2019 年 5 月 19 日

3） 第 10 回大江戸 SPINE 手術手技セミナー
竹内　一裕
メドトロニックソファモアダネック株式会社品川本社　2019 年 6 月 8 日

4） THA Basic Bioskill Course
髙田　直樹
タイ王国バンコク（Chulalongkorn Hospital,Crowne Plaza Bangkok Lumpini Park）
2019 年 6 月 21 日

5） 第 6 回整形外科医のためのナレッジセミナー
竹内　一裕
中外製薬株式会社岡山オフィス　2019 年 6 月 27 日

6） Advanced MIS couse in Bangkok
荒瀧　慎也
Chulalongkong Hospital（Bangkok,Thailand）　2019 年 7 月 7 日

7） Orthopaedic Ttauma Management
佐藤　徹
ホテルメルパルク熊本　2019 年 7 月 28 日

8） 第 26 回日本小児整形外科学会
佐藤　徹
ホテルプラム（神奈川県横浜市）　2019 年 8 月 31 日

9） Conservative THA Expert Meeting

佐藤　徹
メリー財団（Verier-du-Lac,France）　2019 年 9 月 12 日
10）　Oxford Partial Knee Instructional Course
髙田　直樹
品川プリンスホテル　2019 年 9 月 21 日
11）　疼痛サミット
竹内　一裕
北ふれあいセンター　2019 年 9 月 26 日
12）　第 378 回岡山県臨床整形外科医会研修会
竹内　一裕
岡山プラザホテル　2019 年 9 月 28 日
13）　MIS Training Course
荒瀧　慎也
JJI 東京　2019 年 10 月 11 日
14）　第 281 回美作放射線技師研究会
竹内　一裕
芳野病院　2019 年 10 月 28 日
15）　NOVEL TECHNOLOGIES IN SPINE SURGERY
竹内　一裕
Hotel Regina（Vienna,Austria）　2019 年 11 月 20 日
16）　新製品検証及び KMC 経皮的椎体形成術用バルーンカテーテルシステム指導者養成プログラム
荒瀧　慎也
University Kembangan Pendidikan（43600 UKM Babgi Slangor Kuala Lumpur Malaysia）
2019 年 12 月 7 日
17）　Spinal Training Couse_①METRx 3CMOS
荒瀧　慎也
メドトロニックイノベーションセンター　2020 年 1 月 24 日
18）　SPINE MIS Training Course
荒瀧　慎也
J&J Institute 東京　2020 年 2 月 28 日
19）　第 25 回救急整形外傷シンポジウム
佐藤　徹
沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ　2020 年 3 月 14 日

皮膚科　　医長　浅越健治

● 診療科の特色

1) **皮膚腫瘍の診断・治療** ： ダーモスコピー、皮膚超音波検査などの非侵襲的検査や生検によって診断を行います. 疾患によっては他施設と連携して遺伝子診断も行います. 特に悪性腫瘍では、画像診断や早期のリンパ節転移を同定するセンチネルリンパ節生検などを用いて、病状や進行度を正確に把握したうえ過不足のない適切な治療をこころがけます. 外科的治療が中心となりますが、病状に応じて放射線療法、化学療法も適用します. 進行期の悪性黒色腫では分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療が行われます.

2) **皮膚外科手術・処置** ： 外科的治療を要する皮膚疾患の治療に積極的に対応しています。良性および悪性の皮膚腫瘍、母斑、重症軟部組織感染症、膿皮症、などが適応となります。

3) **難治性皮膚疾患（自己免疫性水疱症、乾癬、掌蹠膿疱症、脱毛症、など）の診断・治療** ： 視診に加え、皮膚病理組織検査、蛍光抗体検査、血清学的手法などで診断します. 遺伝性皮膚疾患では他施設との連携のもとに遺伝子診断を行うこともあります. 疾患によっては薬物療法のほか理学療法（紫外線療法：PUVA, narrow-band UVB, エキシマライト, など）も併用して治療します. 重傷乾癬、関節症性乾癬、などでは生物学的製剤による治療が行われています. 最近では難治性じんま疹、重症アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎にも生物学的製剤の適応が広がっています。

4) **皮膚病変を伴う全身性疾患の診断・治療** ： 膠原病、血管炎、血液疾患、など皮膚病変を伴う全身疾患の診断と治療に当たります. しばしば皮疹が全身疾患診断の糸口になります.

5) **他科疾患の皮膚合併症への対応** ： 皮膚感染症や薬疹など、他科領域の患者さんに生じた皮膚合併症や皮膚トラブルに対応し、検査、診断と治療を行います.

6) **皮膚科の救急的疾患への対応** ： 急性炎症性皮膚疾患、感染症（細菌、ウイルス）、など

7) **新生児、小児皮膚疾患への対応** ： 皮膚炎、感染症（ウイルス、細菌）などの一般的疾患の他、遺伝性疾患、膠原病、などの診断と治療に関わります.

8) **皮膚病理診断** ： 皮膚病理診断に重点を置き、病理部と連携して正確な診断を心がけます.

9) **アレルギー検査** ： パッチテスト、プリックテスト、MED(最小紅斑量)測定、など

1. 主要手術（手術室で施行したもの）　　年間手術件数：276 件

疾患名	症例数
良性腫瘍、母斑	178
悪性腫瘍	69
細菌感染症	6
皮膚潰瘍、褥瘡　等	6
膿皮症	5
その他	12

2. 入院主要疾患 臨床統計　　年間入院件数:219 件

疾患名	症例数
悪性腫瘍	53
良性腫瘍、母斑	34
細菌感染症	31
ウイルス感染症	25
水疱症、膿疱症	12
薬疹、アレルギー	8
その他の感染症	6
皮膚炎	5
皮膚潰瘍、褥瘡　等	5
蕁麻疹	4
その他	36

3. 特殊検査法・治療

疾患名	件数
外来処置室での手術	115
皮膚生検	391
紫外線療法	395
ダーモスコピー	434
皮膚超音波検査	238
パッチテスト	18
プリックテスト	4
MED 測定	5

● 研究業績

1. 論文発表

1) 網状皮斑と blue toe から診断に至った抗リン脂質抗体症候群の 1 例
渡辺 充希子, 松三 友子, 眞部 恵子, 浅越 健治
岡山医療センター年報. 15 巻 332―333

2) 局所皮弁で再建した顔面・頭部基底細胞癌の検討
松三友子, 眞部恵子, 浅越健治
日本皮膚外科学会誌 (1880-4470). 23 巻 1 号 495-516

3) 基底細胞癌
浅越健治
皮膚外科学 改訂第 2 版. 495-516

2. 学会、研究会

1) 多中心性病変を呈し真皮内浸潤をみとめた外陰部乳房外 Paget 病の 1 例
渡邊 充希子
第 277 回日本皮膚科学会岡山地方会 2019 年 5 月 18 日

2) 潜在性二分脊椎を伴った coccygeal pad の 1 例
池田 賢太
第 277 回日本皮膚科学会岡山地方会 2019 年 5 月 18 日

3) 腋窩リンパ節転移後、長期経過観察していた背部悪性黒色腫(会議録/症例報告)
浅越 健治
第 277 回日本皮膚科学会岡山地方会 2019 年 5 月 18 日

4) 環状に多中心性病変を認めた肉眼的病変範囲の特定が困難であった外陰部乳房外 Paget 病の 1 例
渡邊 充希子
第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2019 年 5 月 24 日

5) 免疫抑制患者に生じた深在性皮膚カンジダ症の一例
眞部 恵子
第 278 回日本皮膚科学会岡山地方会 2019 年 9 月 15 日

6) Ramucirumab での加療中に毛細血管拡張性肉芽腫を多発性に生じた 1 例
小原 友子
第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2019 年 9 月 7 日

7) シンポジウム 1:皮膚外科基本手技とその一工夫
浅越 健治
第 34 回日本皮膚外科学会総会・学術大会 2019 年 9 月 28 日

8) 陰茎包皮に病変が及んだ男性乳房外パジェット病における包皮温存例の検討
安富 陽平
第 34 回日本皮膚外科学会総会・学術大会 2019 年 9 月 28 日

9) 感染性心内膜炎に伴って発症し、ANCA 陽性であった感染性血管炎の一例
渡邊 充希子
第 47 回岡山膠原病研究会 2019 年 11 月 26 日

10) 蜂窩織炎様の臨床像を呈し，筋生検にて診断に至った筋サルコイドの一例
渡邊 充希子
第 279 回日本皮膚科学会岡山地方会 2020 年 1 月 18 日

11) 水疱性類天疱瘡治療中に 皮膚サイトメガロウイルス(CMV)感染症を生じ、CMV 腸炎による消化管穿孔をきたした 1 例(続報)
安富 陽平
第 279 回日本皮膚科学会岡山地方会 2020 年 1 月 18 日

12) 栄養障害性紅斑症の 2 例
水田 康生
第 279 回日本皮膚科学会岡山地方会 2020 年 1 月 18 日

13) 化膿性汗腺炎　症例提示

眞部　恵子

炎症性皮膚疾患を考える会　2020 年 2 月 8 日

3. 講演

1)　第 47 回岡山膠原病研究会

浅越　健治、渡邊　充希子

ANA クラウンプラザホテル岡山　2019 年 11 月 26 日

2)　炎症性皮膚疾患を考える会

眞部　恵子

岡山プラザホテル　2020 年 2 月 8 日

産婦人科　　医長 熊澤一真

● 診療科の特色

1. 総合周産期母子医療センター

私たちの施設は、平成 16 年に新生児科とともに岡山県から総合周産期母子医療センターに指定されて以来、麻酔科をはじめ各科のバックアップをいただきながら、他の周産期センターと協力して、岡山県の母子保健の向上に努めてきました。当院は、小児外科も充実しており、多数例の小児外科疾患を胎児期から小児外科医とともにフォローさせていただいています。

私たちの施設では、奇形をもった児や早産などで出生後NICUに入院となる児の両親には、新生児科や小児外科から予想される出生後の児の状況について説明をしてもらうことを大事にしています。ご両親は、自分のこどもが出生後にどのような治療を受け、どのように育っていくか、について心配されています。ご両親にとってすごく大切なことと考えています。

● 入院診療実績

1. 婦人科 主要手術　　年間手術件数 71 件

	手術名	件数
1	子宮膣部円錐切除術	17
2	子宮附属器腫瘍摘出術(腹腔鏡)	16
3	腹式単純子宮全摘術	10
4	膣式単純子宮全摘術	7
5	子宮内膜掻爬術	5
6	子宮筋腫核出術	4
7	腹腔鏡補助下膣式単純子宮全摘術	4
8	子宮悪性腫瘍手術	2
9	附属器腫瘍摘出術(開腹)	2
10	子宮附属器悪性腫瘍手術	2

2. 産科診療実績

総分娩数 459、出生児数 495(死産 13)、多胎分娩数 36(双胎 36、品胎 0)でこの年度の帝王切開率は 37.6%でした。以前に比べると若干増加傾向にありますが、原因の一つとして母体年齢の高齢化が考えられます。母体年齢の高齢化は著しく、昨年は全体の 42%を 35 歳以上の妊婦が占めていますが、当院の帝切率は周産期センターの中では全国的にみても低率のグループで、既往帝切後の経膣分娩や双胎妊娠の経膣分娩、未熟児や低置胎盤の経膣分娩など、できるだけスタンダードな分娩を目標にしてきた結果と考えています。しかし、こういった分娩は緊急帝王切開のリスクや出生時の児のリスクも高いため、麻酔科医や新生児科医の昼夜を問わないバックアップが必要であり、各科の協力体制の賜物と言えます。

3. その他

多胎妊娠は、単胎妊娠に比べ妊娠および分娩におけるリスクが高いため、2016 年 10 月より、毎週火曜日と水曜日の午後に多胎外来を設置し、専属医師による継続的な管理を行い、必要があれば適宜、入院していただき、より厳密な管理を行っています。

■ 論 文・教科書

1) Kondo A, Akada S, Akiyama K, Arakawa M, Ichi S, Inamoto Y, Ishida T, Ishikawa H, Itoh T, Izumi A, Kimura F, Kondo AS, Matsuoka R, Miyauchi A, Mochizuki J, Momohara Y, Morikawa S, Morioka M, Morota N, Nakabe K, Obayashi S, Oku M, Samura O, Sasahara J, Sase M, Shimamoto K, Shimamura K, Sumigama S, Tada K, Takahashi H, Tani A, Wada S, Wada-HIraike O, Watanabe T, Yamaguchi M, Yasui T, Yokomine M. Real prevalence of neural tube defects in Japan: How many of such pregnancies have been terminated? Congenital Anomalies 2019;1-7. DOI: 10.1111/cga.12333

2) 赤堀洋一郎, 多田克彦, 片山修一, 橋本一郎, 楠目智章, 井上誠司, 中原康雄. 産科一次施設における胎児の正常肛門エコー像に関する基礎的検討. 日周産期・新生児会誌 2019; 52: 952-63

3) Yasuhi I, Yamashita H, Maeda K, Nomiyama M, Mizunoe T, Tada K, Yorozu M, Ogawa M, Kodama T, Yamaguchi K, Okura N, Kawakami K, Maekawa Y, Hayashi K. High intensity breastfeeding improves insulin sensitivity during early postpartum period in obese women with gestational diabetes. Diab Metab Res Rev. First published: 12 January 2019, doi.org/10.1002/dmrr.3127.

4) 安日一郎, 山下 洋, 前田和寿, 野見山 亮, 水之江知哉, 多田克彦, 小川昌宣, 兒玉尚志, 山口建, 大蔵尚文, 川上浩介, 前川有香, 林 公一. 妊娠糖尿病治療の施設間格差と児の出生体重. 糖尿病と妊娠 2019; 19: 65-66

5) 山下 洋, 安日一郎, 前田和寿, 野見山 亮, 水之江知哉, 多田克彦, 吉田瑞穂, 小川昌宣, 兒玉尚志, 山口 建, 大蔵尚文, 川上浩介, 前川有香. 糖尿病と妊娠 2019; 19: 70-72

6) Miyagi Y, Tada K, Yasuhi I, Maekawa Y, Okura N, Kawakami K, Yamaguchi K, Ogawa M, Kodama K, Nomiyama N, Mizunoe T, Miyake T. New method for determining fibrinogen and FDP threshold criteria by artificial intelligence in cases of massive hemorrhage during delivery. J. Obstet. Gynaecol. Res. 2019, doi:10.1111/jog.14166.

7) 浅井芳江, 中原康雄, 影山 操, 中村 信, 多田克彦, 熊澤一真, 沖本直輝, 塚原紗耶. 新生児期, 乳児期早期の肝血管腫・血管奇形の臨床的検討. 日周産期・新生児会誌 2019; 55: 944-50

■学会発表

1) 2019/4/14(日), 第 71 回日本産科婦人科学会, 名古屋国際会議場, 名古屋市
「分娩時大量出血における人工知能を用いたフィブリノゲンとフィブリン分解産物の境界値」
多田克彦 1) 4), 宮木康成 2) 3), 吉田瑞穂 1) 4), 安日一郎 4), 山下 洋 4), 野見山 亮 4), 大藏尚文 4),

川上浩介 4), 小川昌宣 4), 林　公一 4)、水之江知哉 4), 兒玉尚志 4), 前田和寿 4)、山口　建 4), 前川有香 4)
1 岡山医療センター, 2 三宅おおふくクリニック, 3Medical Data Labo, 4 国立病院機構成育医療ネットワーク共同研究グループ

2)2019/4/14(日), 第 71 回日本産科婦人科学会, 名古屋国際会議場, 名古屋市
「人工知能によるクラスタ分類を用いた分娩時大量出血における血液凝固障害の概念と産科 DIC スコアの弱み」
吉田瑞穂 1) 4), 宮木康成 2) 3), 多田克彦 1) 4), 安日一郎 4), 山下　洋 4), 野見山　亮 4), 大藏尚文 4), 川上浩介 4), 小川昌宣 4), 林　公一 4), 水之江知哉 4), 兒玉尚志 4), 前田和寿 4), 山口　建 4), 前川有香 4)
1 岡山医療センター, 2 三宅おおふくクリニック, 3Medical Data Labo, 4 国立病院機構成育医療ネットワーク共同研究グループ

3)2019/5/26(日), 第 92 回日本超音波医学会, グランドプリンスホテル高輪, 東京
「日本人胎児の基準値を用いた数理生物学的胎児発育推定式」
宮木康成 1,2,3), 多田克彦 4), 高吉理子 1,5,6), 柴田真紀 1,5), 清川麻知子 5), 橋本　雅 1,5), 高田智 1,5), 小田隆司 1,5), 小國信嗣 1,5,6), 三宅貴仁 1,5,6)
1 三宅おおふくクリニック, 2Medical Data Labo Artificial Intelligence, 3 埼玉医科大学国際医療センター産婦人科, 4 岡山医療センター, 5 三宅医院産婦人科, 6 三宅医院問屋町テラス産婦人科

4)2019/5/26(日), 第 92 回日本超音波医学会, グランドプリンスホテル高輪, 東京
「数理生物学に基づいた妊娠 14 週から 39 週までの胎児小脳発育の評価」
多田克彦, 宮木康成 1,2,3), 沖本直輝, 塚原紗耶, 熊澤一真, 立石洋子, 吉田瑞穂, 大岡尚実, 政廣聡子
1 三宅おおふくクリニック, 2Medical Data Labo Artificial Intelligence, 3 埼玉医科大学国際医療センター産婦人科

5)2019/6/9(日), 第 88 回岡山大学医学部産科・婦人科学教室同門会, 岡山コンベンションセンター, 岡山市
「胎児正常肛門像の構成成分の計測値の妊娠期間中の推移と出生前に低位鎖肛を強く疑った一例」
相本法慧, 立石洋子, 沖本直輝, 中村一仁, 大岡尚実, 吉田瑞穂, 塚原紗耶, 政廣聡子, 熊澤一真, 多田克彦, 赤堀洋一郎 1)　　1 赤堀病院

6)2019/6/9(日), 第 88 回岡山大学医学部産科・婦人科学教室同門会, 岡山コンベンションセンター, 岡山市
「産科 DIC スコア 8 点以上の分娩時大量出血症例に抗 DIC 療法をする妥当性の検証」
多田克彦, 中村一仁, 相本法慧, 大岡尚実, 吉田瑞穂, 塚原紗耶, 沖本直輝, 政廣聡子, 立石洋子, 熊澤一真, 宮木康成 1,2)
1 三宅おおふくクリニック, 2 Medical Data Labo

7)2019/6/9(日), 第 88 回岡山大学医学部産科・婦人科学教室同門会, 岡山コンベンションセンター, 岡山市
「施設規模によって妊娠 41 週以降妊娠の結果に差は生じるか」
橋本一郎 1), 楠目智章 2), 井上誠司 3), 赤堀洋一郎 4), 田淵和宏 5), 丹羽家泰 6), 多田克彦 7)
1 橋本産婦人科医院, 2 オークスマタニティークリニック, 3 井上医院, 4 赤堀病院, 5ペリネイト母と子の病院, 6 丹羽病院, 7 岡山医療センター

8)20197/15(月), 第 55 回日本周産期・新生児医学会, キッセイ文化ホール, 松本市
「妊娠 28 週未満切迫早産症例の初回胎児性フィブロネクチン値の妊娠延長期間予測能」
立石洋子, 多田克彦, 大岡尚実, 吉田瑞穂, 塚原紗耶, 沖本直輝, 熊澤一真

9)20197/15(月), 第 55 回日本周産期・新生児医学会, キッセイ文化ホール, 松本市
「産科一次施設における単独の総肺静脈還流異常症スクリーニングの試み」
赤堀洋一郎 1), 橋本一郎 2), 楠目智章 3), 井上誠司 4), 沖本直輝 5), 多田克彦 5)
1 赤堀病院, 2 橋本産婦人科医院, 3 オークスマタニティークリニック, 4 井上医院, 5岡山医療センター

10)2019/7/15(月), 第 55 回日本周産期・新生児医学会, 松本市総合体育館, 松本市
「人工知能を用いた分娩時大量出血症例における凝固障害の概念の説明:第 1 報」
多田克彦 1,5), 宮木康成 2)3), 安日一郎 4,5), 吉田瑞穂 1,5), 山下 洋 5), 野見山 亮 5), 大蔵尚文 5), 川上浩介 5), 小川昌宣 5), 林 公一 5), 水之江知哉 5), 兒玉尚志 5), 前田和寿 5), 山口 建 5), 前川有香 5)
1 岡山医療センター, 2 三宅おおふくクリニック, 3 Medical Data Labo, 4 長崎医療センター, 5 NHO ネットワーク共同研究グループ

11)2019/7/15(月), 第 55 回日本周産期・新生児医学会, 松本市総合体育館, 松本市
「人工知能を用いた分娩時大量出血症例における凝固障害の概念の説明:第 2 報」
多田克彦 1,5), 宮木康成 2)3), 安日一郎 4,5), 吉田瑞穂 1,5), 山下 洋 5), 野見山 亮 5), 大蔵尚文 5), 川上浩介 5), 小川昌宣 5), 林 公一 5), 水之江知哉 5), 兒玉尚志 5), 前田和寿 5), 山口 建 5), 前川有香 5)
1 岡山医療センター, 2 三宅おおふくクリニック, 3 Medical Data Labo, 4 長崎医療センター, 5 NHO ネットワーク共同研究グループ

12)2019/9/7(土), 第 55 回日本超音波医学会中国地方会, YIC スタジオ, 山口市
「胎児正常肛門像の構成成分の計測値の妊娠期間中の推移と出生前に低位鎖肛を強く疑った一例」
相本法慧, 立石洋子, 沖本直輝, 中村一仁, 大岡尚実, 吉田瑞穂, 塚原紗耶, 政廣聡子, 熊澤一真, 多田克彦, 赤堀洋一郎 1) 1 赤堀産婦人科

13)2019/9/14-15(土, 日), 第 34 回日本母乳哺育学会, 岡山県医師会館, 岡山市
教育講演「母親からみた母乳哺育の科学的エビデンス」
多田克彦

14)2019/9/14-15(土, 日), 第 34 回日本母乳哺育学会, 岡山県医師会館, 岡山市
シンポジウム「どこまでできる？周産期メンタルヘルスケア　-母親のニーズと不安の原因-」
多田克彦

15)2019/9/22(日), 第 72 回中国四国産科婦人科学会, 米子コンベンションセンター, 米子市
「産科 DIC スコアが 8 点以上の分娩時大量出血症例に抗 DIC 療法をすることに妥当性はあるか？」
多田克彦 1,5), 宮木康成 2,3,4), 安日一郎 5), 野見山亮 5), 藤原ありさ 5), 大蔵尚文 5), 川上浩介 5), 林　公一 5), 水之江知哉 5), 兒玉尚志 5), 前田和寿 5), 江本郁子 5), 前川有香 5), 吉田瑞穂 1,5), 大岡尚実 1,5), 相本法慧 1,5), 中村一仁 1,5)
1 岡山医療センター, 2 三宅おおふくクリニック, 3 Medical Data Labo, 4 埼玉医科大学国際医療センター, 5 NHO ネットワーク共同研究

16)2019/10/2(水), 第 46 回日本救急医学会, 東京国際フォーラム, 東京
「産科 DIC スコア 8 点以上の分娩時大量出血症例に抗 DIC 療法をする妥当性の検証」
多田克彦 1), 宮木康成 2,3,4), 安日一郎 1)
1 NHO ネットワーク共同研究, 2 三宅おおふくクリニック, 3 Medical Data Labo, 4 埼玉医科大学国際医療センター

17)2019/11/ 9(土), 第 36 回岡山県母性衛生学会, 岡山大学鹿田キャンパス基礎医学講義実習棟 2 階, 岡山市
「切迫早産治療で頸管ペッサリー留置後に膣壁裂傷を発症した一例」
佐藤竜佳 1), 岡田　歩 1), 常久幸恵 1), 熊澤一真, 多田克彦
1 岡山医療センター6A 病棟

18)2019/11/17(日), 第 44 回岡山産科婦人科学会, 川崎医科大学6階大会議室, 倉敷市
「胎児輸血を施行した一例と安全な輸血量に関する考察」
相本法慧, 多田克彦, 立石洋子, 中村一仁, 沖本直輝, 大岡尚実, 吉田瑞穂, 塚原紗耶, 政廣聡子, 熊澤一真

19)2019/11/17(日), 第 44 回岡山産科婦人科学会, 川崎医科大学6階大会議室, 倉敷市
「双胎の切迫早産症例に対して子宮頸管ペッサリー留置後に多量出血を伴う膣壁裂傷を認めた 1 例」
中村一仁, 熊澤一真, 立石洋子, 相本法慧, 大岡尚実, 吉田瑞穂, 塚原紗耶, 政廣聡子, 沖本直輝, 多田克彦

20)2019/12/7(土), 第 8 回血管内留置カテーテル管理研究会, 大阪大学コンベンションセンター, 大阪市
「末梢挿入型中心静脈カテーテルを使用した妊娠女性 56 例の検討」
吉田瑞穂, 熊澤一真, 中村一仁, 相本法慧, 大岡尚実, 塚原紗耶, 政廣聡子, 沖本直輝, 立石洋子, 多田克彦

眼科

医長　尾嶋有美
大島浩一

● 診療科の特色

2.　当科では、眼科領域全般の多岐にわたる疾患を扱っています。ことに、眼と眼付属器の腫瘍、眼形成再建外科（担当・大島）、網膜硝子体疾患（担当・江木）、黄斑部疾患（担当・尾嶋）の診療に、意欲的に取り組んでいます。

● 入院診療実績

1．主要手術　　年間手術件数 1209 件

	手術名	件数
1	水晶体再建術(同時手術を含む)	653
2	網膜光凝固術	145
3	硝子体手術	120
4	後発白内障手術	92
5	眼瞼結膜腫瘍手術（良性と悪性）	61
6	緑内障手術	28
7	結膜腫瘍摘出術	23
8	眼瞼下垂症手術	17
9	眼窩内腫瘍摘出術	16
10	毛様体光凝固術	8

● 研究業績

1．学会、研究

1）　17 歳男児の球結膜下に生じた淡紅色の腫瘤
大島浩一、神農陽子
第 52 回眼科臨床病理組織研究会（第 89 回九州眼科学会）　　2019 年 6 月 1 日

2）　Magnetic resonance imaging was useful to confirm the treatment target and therapeutic-effect of triamcinolone acetonide local injection in Graves´ ophthalmopathy.
Koh-ichi Ohshima, Miyuki Fujiwarai
38th Annual Meeting ESOPRS　　2019 年 9 月 12 日-14 日

3）　マイトマイシン点眼と冷凍凝固で完治しない眼表面悪性腫瘍に対する眼球温存療法
大島浩一、神農陽子
第 37 回日本眼腫瘍学会　　2019 年 9 月 28 日-29 日

4）　MRI で有用性を検証したバセドウ眼症に対する上眼瞼挙筋周囲ケナコルト局所注射
大島浩一、藤原美幸
第 73 回日本臨床眼科学会　　2019 年 10 月 24 日-27 日

5）　Warthin 腫瘍の三症例
大島浩一
第 34 回日本眼窩疾患シンポジウム　　2019 年 11 月 9 日

形成外科　　医長　末延耕作

● 診療科の特色

1.　当科は平成 11 年 7 月より開設された部門である。

当院では、日本形成外科学会専門医 2 名が診療を行っている。また日本形成外科学会による認定施設となっており、形成外科専門医資格獲得のための研修施設として形成外科医の育成に取り組んでいる。診療の中心は小児先天異常となっているが形成外科のほぼ全般にわたる診療を行っている。またレーザー治療も積極的に行っており、各種のあざ、血管腫等に対し色素レーザー、Q スイッチルビーレーザー、CO2 レーザーを用いて治療を行っている。小児であざの面積が広範囲の場合は入院、全身麻酔下での治療も行っている。

● 入院診療実績

1.　主要手術　　年間手術件数　671 件

	手術名	件数
1	1. 外傷	35
2	2. 先天異常	65
3	3. 腫瘍	172
4	4. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	10
5	5. 難治性潰瘍	10
6	6. 炎症・変性疾患	11
7	7. 美容（手術）	0
8	8. その他	20
9	9.レーザー治療	348
10	合　計	671

● 研究業績

1.　学会、研究会

1）　巨大色素性母斑に対する CO2 レーザー照射方法（チェッカーフラッグ法）の経過について
末延耕作
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会　　2019 年 5 月 16 日

2）　当科における眼窩悪性腫瘍切除後の再建症例21例の検討
山崎　由佳
第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会　　2019 年 5 月 15 日～5 月 17 日

3）　20 年目を迎える当院形成外科の傾向と問題点について
末延耕作
第8回川崎医科大学形成外科学教室同門会学術集会　2019 年 6 月 2 日

脳神経外科　　医長　吉田秀行

● 診療科の特色

当科は、2018 年度末にスタッフ全員が退職し、2019 年度から新たな体制で再スタートした。医師数は減員となり、医師1名での診療体制となっている（月・木・金は岡山大学病院脳神経外科から応援医師を派遣頂いている）。そのため、外来や救急応需に若干の影響はあるものの、入院症例数や手術症例数に関しては他科の先生方や病院スタッフの協力のもと、2018 年度の大きな落ち込みを克服して常勤医が4名いた頃とほぼ同等の症例数に V 字回復させた。これまで数年間行われていなかったクモ膜下出血に対するクリッピング術を再開したことに加え、脳腫瘍等に対する開頭手術も大きく増加させ、脳神経外科としての役割を果たせるよう体制を整えている。

● 入院診療実績

1．主要手術

	手術名	件数
1	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	31
2	頭蓋内腫瘍摘出術	14
3	水頭症手術（シャント手術）	10
	（内視鏡下脳室穿破術）	1
4	頭蓋内血腫除去術(開頭)(脳内)	5
5	脳動脈瘤頸部クリッピング術	4
6	頭蓋骨形成手術	3
7	穿頭脳室ドレナージ術	3
8	経鼻的下垂体腫瘍摘出術	2
9	頭蓋内血腫除去術(開頭)(硬膜下)	1
10	その他	8

（計　82 件）

● 研究業績

1 講演

1)　脳疾患を考える医療連携の会

吉田　秀行

岡山医療センター　　2019 年 11 月 13 日

2)　地域連携脳神経フォーラム

吉田　秀行

ホテルグランヴィア岡山　　2019 年 11 月 22 日

心臓血管外科

副院長　岡田正比呂
医長　中井幹三

● 診療科の特色

心臓血管外科では、心臓・大動脈疾患から、末梢血管・静脈瘤にいたるまで多岐にわたる疾患の診療を行っています。当科のスタッフは、3名の心臓血管外科専門医と2名のレジデントおよび診療看護師1名の6名体制で、年間約250例余りの症例を手術しております。また、緊急手術症例に対しては、循環器内科、麻酔科、手術部などの協力のもと夜間・休日を問わず対応できる体制が整えられています。

心臓弁膜症のうち大動脈弁は弁置換術が主流ですが、僧帽弁においては自己弁を温存する弁形成術を主に行う方針としております。最近では、比較的小さな傷で行う低侵襲手術（MICS: Minimally Invasive Cardiac Surgery）が広まってきていますが、当院においても、MICSを導入しています。

虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）の手術では、高齢者やリスクの高い患者様の増加を考慮し、人工心肺を使用しないオフポンプ冠動脈バイパス術（心臓が動いたまま行うもので少し難易度が高くなる）により、手術リスクの軽減を図っています。

肺高血圧症のうち、慢性血栓塞栓生肺高血圧症に対しては循環器科のカテーテル治療とともに当科でも肺動脈内膜摘除術が行われています。

大動脈瘤や大動脈解離に対しては、臓器保護の進歩、人工血管の改良などにより安全に行われるようになってきました。さらに高齢者やリスクの高い患者様に対しては、ステントグラフトを用いて、より低侵襲な手術を目指しております。

末梢動脈疾患は ASO が主ですが、間欠性跛行肢に対しては、症状や活動性などにより、運動療法・カテーテル治療・手術を組み合わせて治療しています。下肢切断の危険性がある重症虚血肢に対しては遠位までのバイパスも考慮します。

下肢静脈瘤治療では、カテーテルを下肢静脈内に挿入し放出される熱により、静脈壁を収縮・閉塞させてしまう血管内治療を導入しました。カテーテルを差し込む小さな傷口だけで済ませることが出来ます。

● 入院診療実績

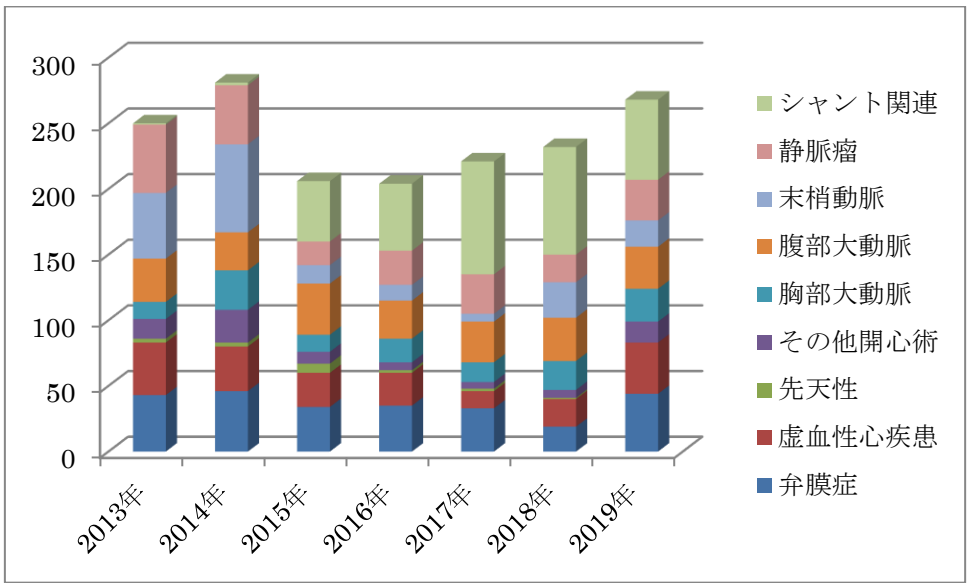
1. 主要手術　　年間手術件数　268 件

	手術名	件数
1	心臓弁膜症	41
2	虚血性心疾患	39
3	その他の心疾患	16
4	胸部大動脈疾患	25
5	腹部大動脈疾患	32
6	末梢動脈疾患	20
7	下肢静脈瘤	31
8	透析シャント関連	61

2. 手術件数の推移

1） 全手術件数

	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
弁膜症	43	46	34	35	33	19	44
虚血性心疾患	40	34	26	25	13	21	39
先天性	3	3	7	2	2	1	0
その他開心術	15	25	9	6	5	6	16
胸部大動脈	13	30	13	18	15	22	25
腹部大動脈	33	29	39	29	31	33	32
末梢動脈	50	67	14	12	6	27	20
静脈瘤	52	45	18	26	30	21	31
その他	1	2	46	51	86	82	61
手術総数	250	281	206	204	221	232	268



3. 2019 年度の取り組み

緊急症例など他院からのご紹介に対して、心臓血管外科医同乗のもと救急車（ドクターカー）でお迎えにうかがっています。

● 研究業績

1. 論文発表

１）Atsushi Tateishi, ,Masahiro Okada, Mikizo Nakai, Yutaka Yokota, Yosuke Miyamoto

Spontaneous ascending aortic rupture in a pregnant woman with neurofibromatosis type 1

General Thoracic and Cardiovascular Surgery, 67(11), 979-981

Nov.2019

2）Zenichi Masuda, Yosuke Miyamoto, Une dai, Yoshinori Inoue,
Atsushi Tateishi, Yutaka Yokota, Mikozo Nakai, Masahiro Okada
Acute Mitral Valve Endocarditis at the 24th Gestational Week

2. 学会、研究会

1） Meet the Expart4　左心耳マネッジメントの最前線！
冠動脈疾患における左心耳マネッジメントと AtrialClip の使用経験について
畝　大
第 33 回日本冠疾患学会学術集会
（2019 年 12 月 13 日　岡山市）

3. 講演

1） 第 33 回日本冠疾患学会学術集会 Meet tha Expert
畝　大
岡山コンベンションセンター　　2019 年 12 月 13 日

耳鼻咽喉科　　医長　赤木祐介

● 診療科の特色

主に他院からの紹介にて入院での治療・手術が必要な患者さんの診察をしています。頭頸部悪性腫瘍（口腔癌・咽頭癌・喉頭癌など）を始め、耳鼻咽喉科領域の良性腫瘍、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎等の耳鼻咽喉科の一般診療を手術・入院加療を中心に行っています。現在、耳鼻咽喉科専門医 3人＋レジデント1人体制で担当しています。副鼻腔疾患は内視鏡を用いた手術的治療、中耳・喉頭の領域では機能再建をめざした治療、頭頸部悪性腫瘍では手術や放射線化学療法を併用した治療を行っています。地域の開業医の先生方と協力しながらより良い医療を提供できるよう努力していきます。

● 入院診療実績

1. 主要手術

年間手術件数 601 件（同時に両側したものは 1 件とし、別の手術はそれぞれカウントする）

年間手術患者数 439 人（1 人に対して別の日に手術を行った場合は 2 人とカウントする）

	手術名	件数
1	口蓋扁桃手術（摘出）	179
2	アデノイド切除術	101
3	鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	53
4	内視鏡下鼻内副鼻腔手術	51
5	喉頭微細手術	35
6	鼻中隔矯正術	26
7	粘膜下下鼻甲介骨切除術	15
8	耳下腺腫瘍摘出術	11
9	喉頭形成手術	6
10	鼓室形成手術	6

（リンパ節摘出術、鼓膜切開術、鼻腔粘膜焼灼術、扁桃周囲膿瘍切開術、気管切開術は除く）

2. その他（2019 年度の特別な取り組み）

1） 学会発表・論文発表

a） 岡山大学を中心とした頭頸部外科の治療の研究グループに参加しています。

b） 舌下免疫療法などの新しい治療も積極的に導入しています。

● 研究業績

1. 論文発表

1） Akagi Y,Tachibana T,Orita Y,Gion Y,Marunaka H,Makino T,Miki K,Akisada N,Yoshino T,Nishizaki K,Sato Y. KRAS mutations in tongue squamous cell carcinoma. Acta Oto-Laryngologica.2019 Jul;139(7):647-651

2） 秋定直樹、石原久司、宇野雅子、赤木祐介、梶原壮平、福本晶、若林時生、竹内彩子、秋定健. 岡山県南東部における夜間・休日の耳鼻咽喉科救急診療の実状. 岡山医学会雑誌 131 巻 3 号 145-152(2019. 12)

麻酔科

診療部長　株丹浩二
医長　小野剛

● 診療科の特色

1. 現在スタッフ 8 名、研修医 1 名で、病院の中央部門である手術室での麻酔管理と集中治療室での治療を行っています。

● 入院診療実績

1. 麻酔科管理　3,079 例
2. ICU 管理症例　388 例（術後症例　314 例、非術後症例　74 例）

● 研究業績

なし。